

## 【1 分解説】ASEAN とは？

総合調査部 マクロ環境調査グループ長 石附 賢実

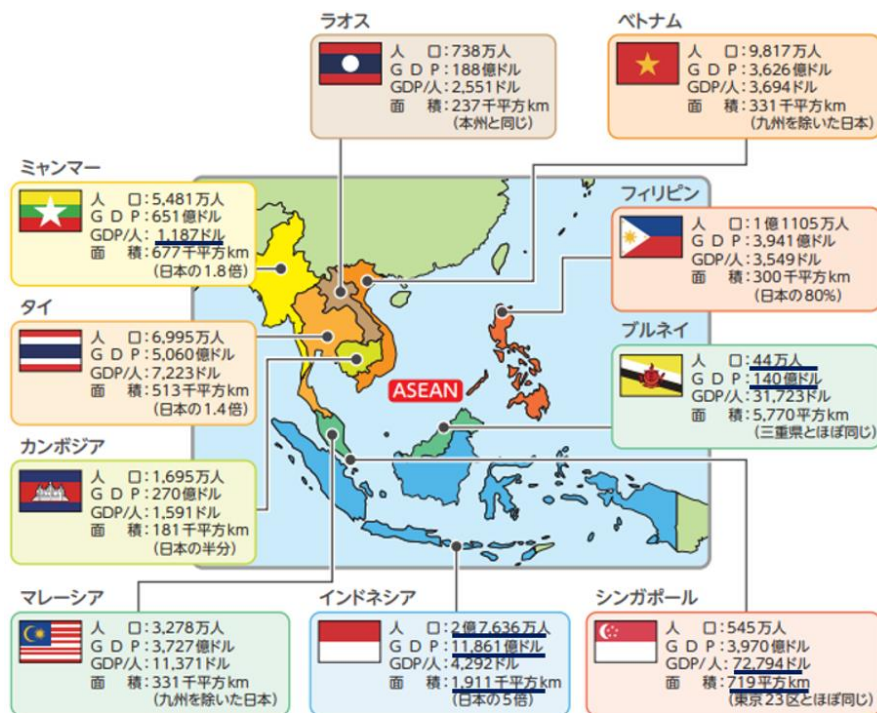
---

ASEAN (Association of Southeast Asian Nations) は、1967年に設立された東南アジア地域の協力枠組みで、現在10カ国で構成されています(資料1)。政治、安全保障、経済、社会文化における協力促進など、幅広い分野がその目的に掲げられています(ASEAN憲章より)。

ASEANの特徴として「多様性」「非干渉」「中心性」「一体性」といったキーワードを耳にします。これらをかみ砕いて表現しますと、「決して一様ではない国々が(多様性、資料1)、原則として内政には干渉せず共通の利益を追求するために協力し(非干渉)、欧米や中露といった陣営の一方のみに与することなくASEANとして諸課題解決プロセスの主導権を持ち(中心性)、個々の影響力は限られる10か国が一体となって国際社会での存在感を発揮する(一体性)」となります。実際、RCEP(ASEANに日中韓豪NZを加えた15カ国の包括的経済連携協定)をはじめとした通商枠組みに代表されるように、ASEANは国際社会でおおいに存在感を発揮しています。

日本とASEANの関係をみますと、2023年は友好協力50周年にあたり、12月には東京で特別首脳会議も開催されます。長年の友好・協力関係もあって、日本はASEANの人々から高い信頼を受けています(資料2)。安全保障環境の変化やサプライチェーンを中心とした中国からのデリスキングが叫ばれる中で、日本におけるASEANの重要性は今後ますます大きくなっていくでしょう。

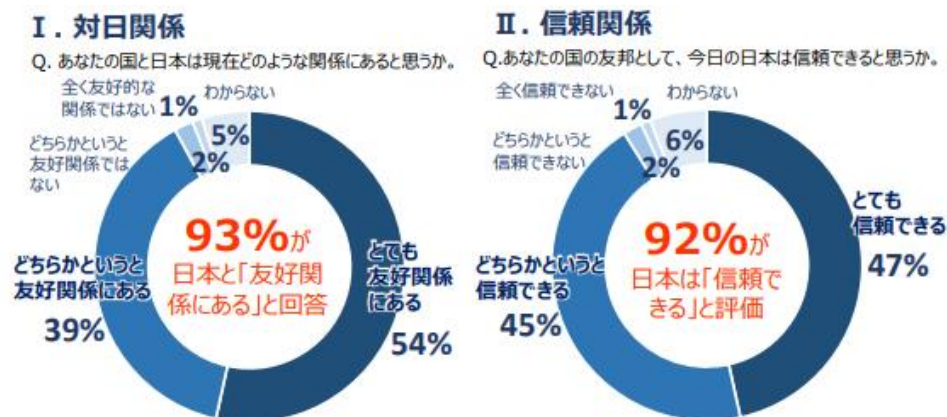
資料1 ASEAN加盟国の人口、GDP、一人当たりGDP、面積



出典：IMF, World Bank, 財務省貿易統計

(出所)外務省 HP「日本とASEAN」(2023年4月)より。第一生命経済研究所にて各指標のASEAN最大・最小値を下線で強調。<https://www.mofa.go.jp/mofaj/files/100489369.pdf>  
 (注)ASEAN域内で人口は628倍(インドネシア/ブルネイ)、一人当たりGDPは61倍(シンガポール/ミャンマー)もの差が存在する。このほか、宗教や政治体制も一様ではない。現在、東ティモールがオブザーバー参加しており、近々正式な加盟が認められる見通し。

資料2 ASEANにおける対日世論調査



(出所)外務省 HP「令和3年度 ASEANにおける対日世論調査結果(調査年月:2022年1月)」より抜粋  
<https://www.mofa.go.jp/mofaj/files/100348512.pdf>

関連レポート

- 石附賢実(2023年6月)「【1分解説】デリスキングとは」  
<https://www.dlri.co.jp/report/ld/253600.html>
- 石附賢実(2022年6月)「ASEAN・インドへの武器移転でロシアが存在感～米中露との距離感を経済・武器・価値観で概観～」  
<https://www.dlri.co.jp/report/ld/190208.html>